
翡翠町の生活？

翡翠 煉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

翡翠町の生活？

【Nコード】

N0497BA

【作者名】

翡翠 煉

【あらすじ】

様々なキャラがくらししている翡翠町。

この街にある翡翠マンションを中心とした様々な場所で起こる様々な事をお楽しみ下さい！

1 挨拶（前書き）

この小説は、様々なキャラとオリキャラetcが架空の街での生活を中心として書かれています。

見苦しい点、性格崩壊などの点がありますが、見るのであれば、なにがあっても文句は言わないと約束はしてください。

たとえ荒らしだとしても、内容の文句だけはやめてください。

「挨拶」

「この度は、翡翠煉の新作、翡翠町の生活？ をご覧いただきありがとうございます。」

この小説は様々なキャラが架空の街で生活するという、二番煎じもいいところの作品となっております。

ですが、この話が面白く、尚且つ皆さまに見て貰えるように頑張っています。

では、宜しくお願いします。

以上。作者、翡翠煉からのご挨拶でした！」

「この小説には、様々なキャラが登場するが、本編入ってもこの調子で行けるかは怪しいらしい。」

もし変わっても文句は言わないでくれよな」

星月神社の巫女

煉「と、いうことで、星月神社に来ました!」

マリオ「毎年新年は星月の巫女に挨拶をするのがもつ定番だからな」

ナギ「そうだろ? ハヤテ?」

ハヤテ「こっちも定番にするんですか・・・」

ハヤテはメイド服を着せられています。

翡翠マンシヨンの定番（星月神社編）

1 毎年の始めは星月の巫女に挨拶をする。

2 その時、数人が女装する（ちよつと前から巫女を笑わそう! という思いつきからなった）

翔太「あ、かななずきさん!」

神無月「あ、皆さん!おはようございます!」

煉「おはよう!」

マリオ「今年も宜しくお願いします」

ハヤテ「今年も宜しくお願いします」

神無月「ハヤテさん・・・いいことがありますよ・・・」

煉「おみくじひくよ！」

マリオ「凶・・・」

煉「中吉！」

ナギ「大吉だな」

ハヤテ「凶・・・」

翔太「きち？」

マリオ「それじゃ、残りの六人にも宜しくって伝えといてね」

神無月「分かりました！」

煉「さあ、帰るぞ！」

星月神社の巫女（後書き）

まあ、最初だから人数少ないな・・・

こんな感じで進んで行くと思います。

突然だが内容変更についての会議を始める

煉「と、いうわけで内容についての会議を行う」

マリオ「早すぎるだろ・・・」

明久「こんなだから作者は駄目なんだよ・・・」

一夏「作者はすぐ外部から影響受けるからな・・・」

ユウト「で、どうするんですか？」

煉「候補を言っと・・・」

1 そのまま

2 学園に変更

3 ギルドの方のサイドストーリー

4 一つの作品の舞台にそれ以外のキャラを送り込む

5 打ち切り

マリー「打ち切りいれるなよおおおお！！！！」

マリオ「（マリーが突っ込みになりかけてる・・・）」

ムツツリーニ「・・・作者は前に学園を更新して打ち切った。

もし1と2で迷うのなら打ち切ったほうを再開すればいい。4は読者に迷惑をかけるからやめたほうがいい。ミテルヒトハイナイケド」

シヤナ「・・・私は2。学校は楽しいから・・・」

煉「まあ、進めるか」

マリオ「撤収」

煉「まだあるから!？」

マリオ「いやいや、内容なら終わりだろ？」

やるもの決まらないなら」

煉「あー、それだが、他に、

転生者の有無

参加作品の扱いなどe t c e t c」

マリー「転生者の有無は無しがいい!

どうせチート能力とかでハーレム狙ったり・・・」

一夏「そこまで俺は嫌だが・・・作者は賛成なんだろ?」

煉「勿論！　で、作品の数だが、あまり急に増やさない」

魔理沙「まあ、そこはそれでいいだろ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0497ba/>

翡翠町の生活？

2012年1月14日15時46分発行